

選考経過（特別賞）

今回の特別賞は、2025年関西万博の為に建設された仮施設の中で今後の膜材料、膜構造の普及発展に繋がると考えられるものに対し顕彰するために常設3賞とは別に設けられた枠である。応募15件に対し、審査は書類選考（1次審査）、オンラインによるプレゼンテーション（2次審査）の2段階で実施した。1次審査を通過した11件について、プレゼンテーション審査（発表者はオンラインで出席）と質疑応答を実施した。最終選考会議では、資料を縦覧した後、全委員での議論と投票を行った。なお利害関係のある委員は投票を棄権し、棄権者のある回の投票は他の投票者の点数を按分することで不公平の出ないように配慮した。万博という特殊性や短工期の困難などの条件下で実現に至った各施設の熱い思いが語られた。審査委員の意見も高い評価から厳しい意見まであり困難を極めたが、評価の上位と下位のグループは比較的明確に分かれた。以上の経緯を経て、今回の特別賞を授与する対象として以下の6件が選出された。半年という会期の短さを有効に利用し、意匠的にも技術的にも、また環境的配慮という点でも、発信力があり、挑戦的かつ質の高い作品が選ばれたと考えている。

「null² ～2025年日本国際博覧会テーマ館「いのちを磨く」～」

「大阪・関西万博ルクセンブルクパビリオン ～DOKI DOKI ルクセンブルク～」

「万博サウナ「太陽のつぼみ」/EXPO SAUNA 'TAIYO TSUBOMI」

「2025年 日本国際博覧会 休憩所1～fuku fuku～」

「ウーマンズパビリオン in collaboration with Cartier」

「いのちの未来 シグネチャーパビリオン」

表彰委員長 川口健一